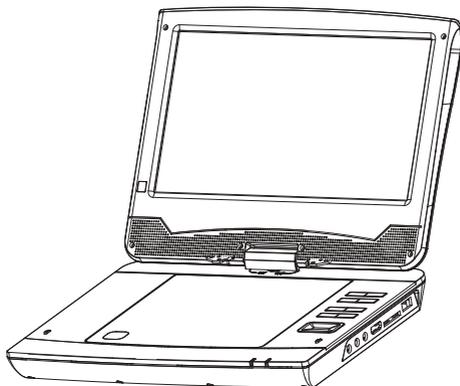


商品名：10 インチポータブルブルーレイプレーヤー

SU-10PB

取扱説明書

保証書添付



この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- 本機の性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にお読みください。お読みになった後は、保証書付ですので大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書に、「お買い上げ日、販売店名」などの記入があるかを必ずお確かめください。

※本書で使用しているイラストは実物と多少異なる場合がございます。

目次

使用上の注意	2～3
ディスクについて	4～5
製品内容	6
各部の名称	6～7

準備する

リモコンを使う	7
リモコンの機能一覧	8
ACアダプター、車載用シガーソケットアダプターを使う、充電する	9
液晶パネルの回転、車載用バッグを使う	10

ディスクを見る

ディスクを再生する	11
基本操作、ディスクメッセージ	11
ボタン操作について	
再生/一時停止、停止、前/次へ、早送り/早戻し、スロー	12
数字、メニュー、タイトル/ポップアップ、BD/ビデオ入力切替	13
メディアセンター、音量+/-、消音、設定	13
リピート、A-Bリピート、黄(ズーム)	14
表示、字幕、音声	15
赤(プログラム)、サーチ、画面オン/オフ	16
便利な再生機能	
ブックマーク機能	17
OSC(オンスクリーンコントロール)機能、BD-LIVE機能	18
メディアセンター、再生ファイルの種類	19
設定画面を使う	
設定画面の基本操作方法	20
基本設定	
システム、言語設定	20
再生設定、安全設定	21
ネットワーク	22
映像設定	
画面調整	22
映像処理	23
音声設定	
音声出力	24
システム情報	24

AVモードで見る

モニター機能を使う	25
-----------	----

外部端子

イヤホンを使用する	25
テレビやモニターとつなぐ、HDMI入力端子のある機器とつなぐ	26
USB端子を使用する、SD/MMCスロットを使用する	27

その他

主な仕様	28
故障かな?と思ったら、お手入れについて	29

使用上の注意 正しく安全にご使用いただくために必ずお読みください

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ 本体、電源コードについて

 警告	 コンセントを抜く	火災・感電の原因となりますので、本体や電源コードが異常なとき(煙が出ている・異常に熱い・変なにおいがする)は、ただちにご使用をやめて、電源コードをコンセントから抜いてください。
	 分解禁止	火災や感電の原因となりますので、絶対に分解や改造等を行わないでください。
	 禁止	火災や感電の原因となりますので、本体内部に水や異物が入ったときは、ただちにご使用を中止し、電源コードをコンセントから抜いてください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
	 コンセントを抜く	火災や感電の原因となりますので、電源プラグはコンセントの根元までしっかり差し込んでください。また、電源プラグに濡れた手で触れないでください。
	 コンセントを抜く	ケガや感電の原因となりますので、お手入れの際は必ず電源コードを抜いてから行ってください。また、雷が鳴っているときは、本体・電源コードに触れないでください。落雷すると、感電する恐れがあります。
	 コンセントを抜く	火災や感電の原因となりますので、本製品が破損した場合は、そのままご使用にならず、電源コードをコンセントから抜いてください。
	 注意	本製品を指定された、電源電圧以外でご使用にならないでください。 指定以外の電源電圧で使用すると、火災・感電・故障の原因になります。
	 禁止	本製品を水で濡らしたり、水滴のかかる場所に置かないでください。海岸や川岸などの水辺や雨天・降雪時の窓辺でのご使用や設置にはご注意ください。また、風呂場や厨房・サウナなど高温多湿な場所ではご使用にならないでください。内部に水が入ると火災・感電・故障の原因になります。

 注意	 禁止	本体を傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。 本体が落下して、破損やケガをする原因になります。
	 禁止	本体の内部に異物を入れないでください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 また、本製品を乳幼児には触れさせないでください。故障や火災・感電の原因になります。
	 禁止	本体を持ち運ぶときは、過度の衝撃や振動を与えないでください。故障や破損の原因になります。
	 禁止	電源コードを傷つけたり、破損・切断・加工をしないでください。また、電源コードを束ねたり、延長・固定・タコ足配線で使用しないでください。発熱などにより、火災・故障の原因になります。電源コードが傷ついている場合は、ただちにご使用をやめてください。火災や感電の原因になります。
	 コンセントを抜く	本製品を移動させるときは、ディスクを取り出し、電源コードをコンセントから抜いてください。 また、長期の外出をするときや長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。火災などの原因になります。
	 注意	リモコンの電池は極性の向きを正しく入れてください。誤って入れると、破裂、液漏れの原因になります。 また、電池を加熱・分解すると破裂する危険があります。

 注意	 <small>禁止</small>	本製品の通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所に設置しないでください。閉めきった車内や、直射日光に当たる場所に設置、放置しないでください。本体内部が高温になり故障の原因となります。
	 <small>禁止</small>	走行中、運転されている方は危険ですので、絶対に本製品の操作等をしないでください。
	 <small>禁止</small>	通電中の本機や電源コードに長時間触れしないでください。長時間皮膚が触れたままになると、低温やけどの原因となることがあります。
	 <small>禁止</small>	本機や電源コードを、布や布団などでおおった状態で使用しないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。
	 <small>禁止</small>	本体内部の部品をさわらないでください。ケガの原因になることがあります。また、高温になった部品にさわると、やけどの原因となることがあります。ケースなどの外装部品が破損しても本体内部の部品には触れないでください。高電圧部品により感電することがあります。
	 <small>分解禁止</small>	分解や改造をしないでください。火災や感電の原因となります。点検や修理は、お買い上げ店、または弊社サポートセンターにご相談ください。

■ 内蔵のバッテリーパックについて

 警告			
 <small>禁止</small>	バッテリーパックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用・放置しないでください。バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。	 <small>禁止</small>	バッテリーパックを火の中に入れて、加熱しないでください。バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。なお、水に濡れた場合でも加熱用機器などで強制的に乾燥させないでください。
 <small>分解禁止</small>	バッテリーパックを分解・改造・修理しないでください。バッテリーパックでの火災・感電の原因となります。	 <small>禁止</small>	バッテリーパックの周りにコップや花びんなど、液体の入った容器を置かないでください。液体がこぼれて濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。
 <small>禁止</small>	バッテリーパックを水や汗・海水などで濡らさないでください。バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。	 <small>禁止</small>	バッテリーパックを屋外や浴室など、水がかかる場所に置かないこと。濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。
 <small>禁止</small>	バッテリーパックの端子を針金などの金属で接続しないでください。バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。	 <small>禁止</small>	バッテリーパックを落としたり強い衝撃を与えないでください。バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。
 <small>禁止</small>	バッテリーパックを金属製のネックレスやヘアピンと一緒に持ち運んだり保管しないでください。バッテリーパックがショート状態となり、発熱・破裂・発火したり、ネックレスやヘアピンなどが発熱する原因となります。	 <small>禁止</small>	バッテリーパックは付属または指定のバッテリーパックを使用してください。また、バッテリーパックは本製品に使用してください。バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。
 <small>禁止</small>	濡れたバッテリーパックを充電しないでください。発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合は、ただちに本体の電源を切るか、バッテリーパックを外してください。	 <small>禁止</small>	引火ガスが発生する場所で使用しないでください。ガスに引火し、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所では本体の電源を切り、充電もしないでください。
 <small>禁止</small>	所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。バッテリーパックが発熱・破裂・発火する可能性があります。	 <small>注意</small>	バッテリーパック内部から出た液体が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、眼科の医師の治療を受けてください。そのままにしておくと、目に障害を与える原因となります。
 <small>注意</small>	本体・バッテリーパック・ACアダプターに発煙・異臭などの異常が発生したり、破損した時は、すぐに次の作業を行ってください。 1.使用中(充電中を含む)であれば、ACアダプターを家庭用交流100Vコンセントから抜いてください。 2.冷えた事を確認し、本体の電源を切り、バッテリーパックを取り外してください。そのまま使用(充電)すると、バッテリーパックが発熱・破裂・発火したり、本体が発熱する原因となります。		

 注意			
 <small>禁止</small>	本体・バッテリーパックを直射日光の強いところや炎天下の車内など、バッテリーパックが高い温度になるところで使用・放置しないでください。バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。	 <small>禁止</small>	バッテリーパックを幼児の手の届く場所には置かないでください。ケガなどの原因となります。また、幼児が誤って飲み込むと、窒息の恐れがあります。
 <small>分解禁止</small>	本体とバッテリーパックとの間に水などの液体・金属片・燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電・故障原因となります。	 <small>禁止</small>	汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。発熱・故障の原因となります。

ディスクについて

●再生できるディスク

ディスクの種類

- 市販/レンタルディスク
- ブルーレイディスク
- DVD-VIDEO
- ビデオCD/音楽用CD記録ディスク
- BD-R/RE
- DVD-R/-RW(ファイナライズ済ディスク)
- CD-R/-RW
- DVD-R/+RW(ファイナライズ済ディスク)

●ブルーレイディスク/DVD/CDについてのご注意

本機は以下のフォーマットで記録したCD-ROM/CD-R/CD-RWを再生できます。

- 音楽用フォーマット
- ビデオCDフォーマット
- ISO9660 レベル1/Joliet準拠のMP3音声トラック
- JPEG画像ファイル

本機は以下のフォーマットで記録したDVD-ROM/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/BD-R/BD-REを再生できます。

- BD-MV
- BD-AV
- AVCHD
- AVCREC
- DVD-VIDEO
- DVD-VR
- UDF(ユニバーサルディスクフォーマット)準拠のMP3音声トラック、JPEG画像ファイル

本機は録画したデジタル放送の番組を再生できる、AACs、CPRM^{*}に対応しています。

- ブルーレイディスクに著作権保護されたコンテンツを再生するために著作権保護技術「AACs」を採用しています。
- DVDに記録した地上デジタル放送やBSデジタル放送は、著作権保護のためCPRM対応プレーヤーでなければ再生できません。

★CPRM(Content Protection for Recordable Media)とは、録画回数に制限がある番組に対する著作権保護技術です。

●再生できないディスクについて

本機では以下のディスクなどを再生することはできません。

- HD DVD
- DVD-RAM/DVD+R DL/DVD-R DL
- フォトCDフォーマットで記録したCD-ROM
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVDオーディオ
- MP3/JPEG画像を含まないデータDVDおよびデータCD
- スーパーオーディオCDのHD(ハイデンシティ)レイヤー
- このページで記載のフォーマット以外で記録したCD-ROM/CD-R/CD-RW

次のようなディスクも再生できません。

- 本機では再生できないリージョンコード(地域番号)の市販のDVD
- 円形以外の特殊な形状(カード型・ハート型など)をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- ゼロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出たり、はがした痕のあるディスク
- 傷の多いディスク

●再生時のご注意

記録済みのCD-R/-RW+DVD-R/-RW+DVD+R/+RWは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、CD/DVD書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。

データ再生に関しては、エンコード方法などによって再生できないものもあります。

記録型DVDの記録終了時に終了情報を記録する「ファイナライズ」作業を行っていないディスクは再生できません。(詳しくはレコーダー等の取扱説明書をお読みください)

記録型メディアによっては、適切にファイナライズ作業が行われていても本機のいくつかの再生機能が使えなかったり、ディスクが正常に再生できない場合があります。また、パケットライト方式およびマルチセッションで作成されたデータCD/データDVDには、再生できないものがあります。

本製品はコンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものがあり、本製品では再生できない場合があります。

DVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせたDual Discの音楽専用面は、コンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

DVDハイブリッドディスクは、記録方式が従来のDVD規格とは異なるため、本製品での再生は保証いたしません。

● ブルーレイディスク・DVD・ビデオCD再生時の操作について

ブルーレイディスク・DVD・ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態があらかじめ決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属する取扱説明書も必ずご覧ください。

● リージョンコード(地域番号)について

リージョンコードは著作権保護を目的に設けられた制度です。市販のパッケージには、販売地域によって、リージョンコードが表示されています。

※地域番号が同じでも日本向け以外のディスクでは正常に再生できない場合があります。

ブルーレイディスクには地域番号に「A」が含まれているときは、本機で再生可能です。



DVDディスクには地域番号に「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。



● ディスクの取扱いについて

- 再生面に手を触れないように持ちます。



- 直射日光が当たるところなど、温度の高いところ、湿度の高いところには置かないでください。
- ケースに入れて保管してください。
- 指紋やほこりなどによるディスクの汚れは、映像・音声の乱れの原因となります。取扱いには十分ご注意ください。
- ディスクのお手入れは、ディスクの取扱説明書等をご覧ください。
- ディスクを絶対に曲げないでください。破損や変形の原因となり、再生できなくなる場合があります。

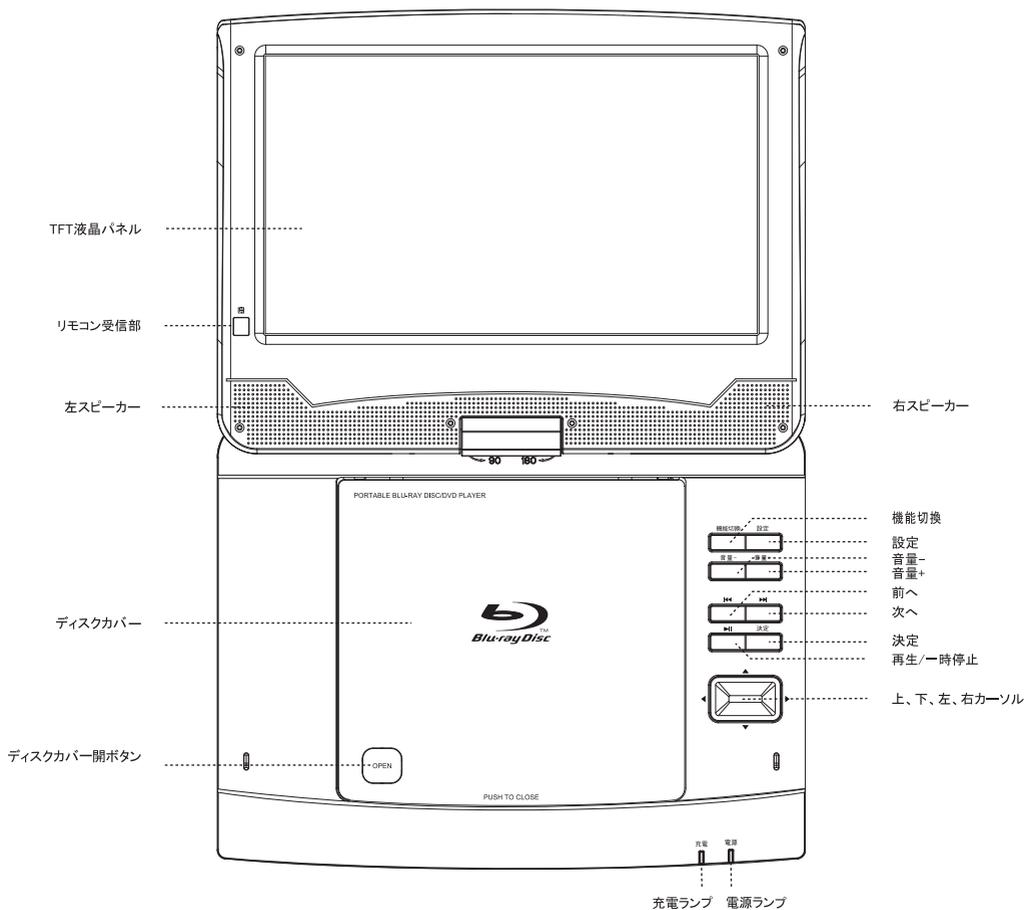


製品内容

- ・ブルーレイプレーヤー本体
- ・AC電源アダプター
- ・AVケーブル
- ・リモコン
- ・単四電池 2本（試供品）
- ・車載用バッグ
- ・シガーソケットアダプター
- ・イヤホン
- ・取扱説明書／保証書（本書）

各部の名称

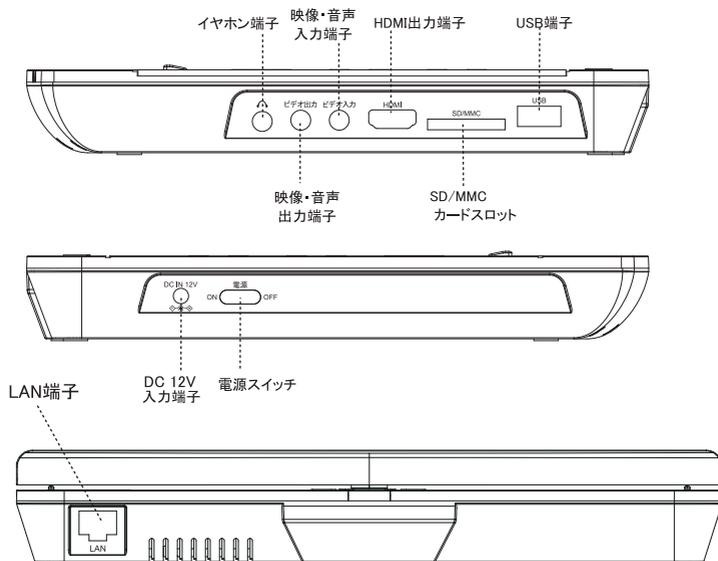
●液晶画面と操作部



※操作ボタンの各機能は、ボタン操作について(P12～16)を参照下さい

各部の名称

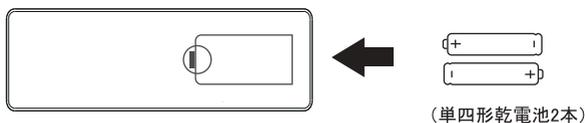
●側面



準備する

リモコンを使う

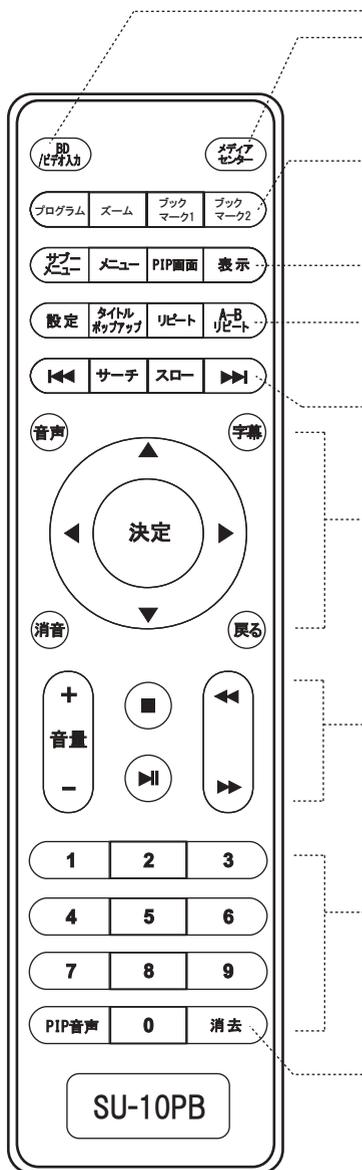
リモコン裏面のカバーを開けて、単四形乾電池2本を左図のとおりに取り付け、カバーを閉めます。



■ご注意ください

- ・リモコンを使用する場合は、本体の受光部に向けて操作してください。
- ・使用範囲は本体受光部正面から約5m、左右30度以内で使用してください。
※操作可能範囲は使用状況により変わります。
- ・本体受光部に直射日光や強い照明が当たった場合、受光部が破損し、受光できなくなる恐れがありますので、ご注意ください。
- ・リモコンを投げる、落とすなど過度の衝撃を与えないでください。
- ・リモコンを水に濡らしたり、湿度の高いところでは、使用、保管しないでください。
- ・乾電池を入れ替えたときに、リモコンが正しく動作しないときがあります。このようなときは、乾電池を一度取り出し、5分以上経ってから再度入れ直してください。
- ・リモコンを分解、改造、修理しないでください。また他の機器には使用しないでください。
- ・付属の電池は試供品ですので、早めの交換をお願いします。

リモコンの機能一覧



ブルーレイ(再生状態)/ビデオ入力「モード切替」
メディアセンター「ディスク/SD/USB メディア切替」

赤 プログラム	黄 ズーム	緑 ブック マーク1	青 ブック マーク2
赤、黄、緑、青ボタン	:画面上の指示に応じて使用します		
赤ボタン(プログラム)	:プログラム再生します		
黄ボタン(ズーム)	:画面を拡大 縮小します		
緑ボタン(ブックマーク1)	:ブックマークを設定します		
青ボタン(ブックマーク2)	:設定したブックマークを表示します		

サブメニュー	:OSC(オンスクリーンコントロール)機能を使用します
メニュー	:ディスクのメニュー画面が表示されます
PIP画面	:ピクチャインピクチャーを表示します
表示	:再生中のディスク情報を画面上部に表示します

設定	:設定の確認や各種設定を変更することができます
タイトルポップアップ	:タイトルメニューやポップアップメニューを表示します
リピート	:繰り返し再生することができます
A-Bリピート	:設定範囲を繰り返し再生することができます

◀ 前へ	:前のチャプターやトラックへ移動します
サーチ	:ディスク再生中ご覧になりたい位置から再生できます
スロー	:スロー再生することができます
▶▶ 次へ	:次のチャプターやトラックへ移動します

音声	:音声やサウンドトラックを切り替えることができます
字幕	:字幕の選択をすることができます
決定	:操作や設定を決定します
▲ ▼ ◀ ▶	:上、下、左、右カーソルを移動することができます
消音	:音声を消すことができます
戻る	:もとの設定や画面に戻ることができます

音量 [+/-]	:音量を調整することができます
■ 停止	:再生している状態から停止状態にすることができます
▶▶ 再生/一時停止	:再生開始と一時停止をすることができます
◀◀ 早戻し	:早戻し再生をすることができます
▶▶ 早送り	:早送り再生をすることができます

数字入力ボタン

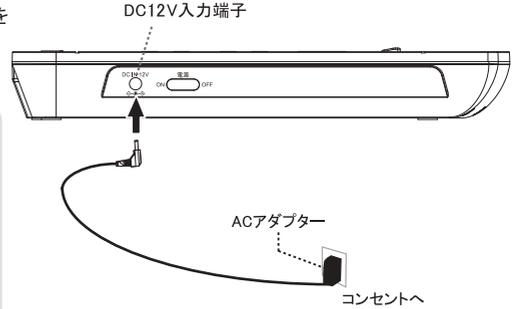
PIP音声	:ピクチャインピクチャーの音声を切替ます
消去	:入力項目を消去します

ACアダプターを使う

1. 本体のDC12V入力端子にACアダプターの出力ジャックを差し込みます。
2. ACアダプターをコンセントに差し込みます。

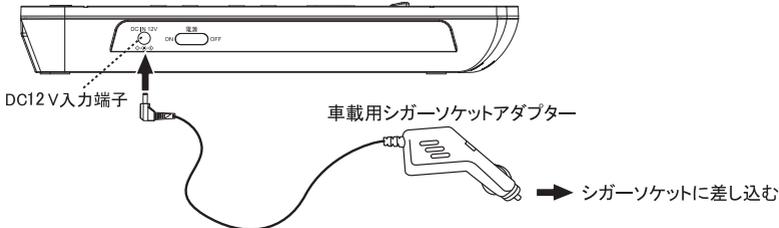
■ご注意ください

- ・製品に付属されている以外のACアダプターを使用された場合、故障や破損の原因となりますので使用しないでください。
- ・使用しない時、お手入れや点検を行うときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・テレビと接続する際は、必ず本機とテレビの電源を切ってから行ってください。
- ・端子は奥までしっかり差し込んでください。映像や音声は正常に出ない場合があります。
- ・ACアダプターの出力ジャック端子を本体接続時に、ジャック端子に過度の衝撃を加えると、DC12V入力端子が破損する可能性があります。



車載用シガーソケットアダプターを使う

1. 本体のDC12V入力端子に車載用シガーソケットアダプターの出力ジャックを差し込みます。
2. シガーソケットアダプターを車のシガーソケットに差し込みます。



■ご注意ください

- ・シガーソケットアダプターは12V車専用です。12V以外のシガーソケットには使用しないでください。(本体セットが故障します)
- ・本製品を運転中に操作しないでください。事故の原因となります。
- ・車内に本体やアダプターを放置しないでください。特に高温になると本体が変形したり、バッテリー、BDローダー等重要部品の故障の原因となります。

充電する

1. 本体DC12V入力端子にACアダプターの出力ジャックを差し込み、ACアダプターをコンセントに差し込みます。
充電中 … チャージランプ赤色点灯 電源ON … パワーランプ青色点灯
充電完了 … チャージランプ赤色消灯 電源OFF … パワーランプ青色消灯
2. 充電時間は電源OFFの状態で約4～5時間、電源ONの状態で約8～10時間で完了します。

※ ACアダプターと同様にシガーソケットからも充電することが出来ます。

※ バッテリーの容量が低下すると充電ランプが点滅します。その場合は、できるだけ早く充電を行うようにして下さい。

液晶パネルの回転

液晶画面は開いた状態で、時計回り(右方向)に180度、反時計回り(左方向)に90度回転します。回転させる際は、液晶画面の縁と本体部分をしっかり持って丁寧にゆっくり回転させてください。

■ご注意ください

- 液晶パネルを回転させるときにパネル部に触れないようにご注意ください。また、必要以上の力で回転させたり無理にパネル関節部を折り曲げると破損の原因となりますのでご注意ください。
- ※ 液晶パネルは、時計回りに180度以上、反時計回りに90度以上回転しません。無理に力を入れ回転させようとするると本体が破損し、感電やケガをするおそれがありますので、回転させる際は、丁寧にゆっくりと行ってください。

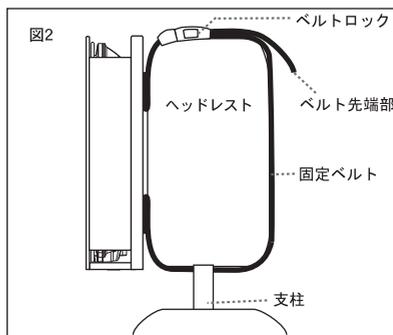
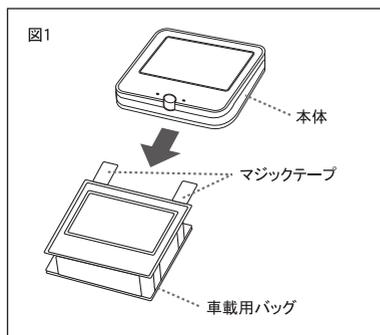
車載用バッグを使う

車載用バッグを使って自動車のヘッドレストに装着することができます。

1. 本体の液晶パネルを時計回りにゆっくり180度回転させます。
2. 車載用バッグに収納し、上部をマジックテープで閉め、本体が動かないようにしっかり固定します。(図1)
3. ヘッドレストの支柱の内側に固定ベルトをおし、巻き付けベルトロックが“カチッ”と鳴るまで差し込んでください。ベルト先端部を引っ張り、しっかりと車載用バッグを固定します。(図2)

■ご注意ください

- 車載用バッグは、背もたれとヘッドレスト一体型シートには対応してません。また、車種によっては、構造上取り付け出来ない場合や、取り付けが出来ても安全のため適切でない場合があります。
- 車載専用ブルーレイプレーヤーではありませんので、車内に放置したままにしないでください。
- エアバッグ動作の妨げになる場合、取り付けをしないでください。エアバッグそのものが動作しなかったり、エアバッグ展開時に本体が破損し、ケガなどをするおそれがあります。
- 車載用バッグは時間の経過とともに少しずつベルトが緩む可能性があります。運転前に必ず車載用バッグの取付状況をご確認して頂き、異常がある場合は使用しないでください。事故やケガの原因となります。
- 運転者が走行中にテレビ観賞することは道路交通法で禁じられています。
- 運転に支障をきたす場所や同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは絶対に行わないでください。交通事故やケガの原因となります。



ディスクを見る

ディスクを再生する

●基本操作

- 1) 本体の電源を入れます。
- 2) 本体の「開く」部を押して、ディスクカバーを開けます。
- 3) ディスクのラベル印刷面を上にして、ディスクホルダー中央部にディスクをやさしく入れて下さい。この時、「カチッ」という音がしたのを確認してください。
- 4) ディスクカバーを閉じます。
※ ディスクを装着する方法が間違っていたり、トレーの凹みにきちんと置いていない場合は、ディスクを読み込めず、「ディスク無し」と表示されます。
※ ディスクによっては、自動的に再生しないものや、メニュー画面が再生されないものがあります。
- 5) ブルーレイディスク・DVD-VIDEO・ビデオCD/音楽用CDには「決定」ボタン、または再生ボタン(▶)を押すと再生が始まります。
ディスクによっては自動的に再生が始まります。
画面にディスクメニューが表示された場合、リモコンの矢印キーで、お好みのメニューに合わせ、決定ボタンを押します。
- 6) BDAV・DVD-VR(MVR)・AVCHD・AVREC・MP3・JPEGのフォーマットで記録したディスクを再生する時に、下記の画面が表示されます。リモコンの矢印キーで、お好みのメニューに合わせ、決定ボタンを押すと再生が始まります。



ディスクのフォーマットより表示内容違います。

BDAV
DVD-VR(MVR表示)
AVCHD
AVREC
メディアセンター(MP3、JPEG)

■ご注意ください

- ディスクをセットする際、ホルダー中央部に無理な力を掛けると破損する恐れがあります。
- ディスク回転中に突然電源を切ると本体内部の破損の原因となりますので、必ず停止してから、電源を切ってください。また、電源コードは、電源を切った状態で取り外してください。
- 操作中、「⓪」マークの表示が画面に出る場合は、本製品またはディスク側で操作が無効であることを意味します。
- ディスクの再生中にメニュー画面が表示されたり、操作内容が表示されたときは、表示の指示に従って操作してください。

●ディスクメッセージ

下記メッセージが画面上に表示された場合があります。使用するディスクにご確認ください。

- リージョンエラー
本機が再生できる地域(リージョン)であるBlu-rayの「A」、DVDの「2」と違うディスクを再生しようとした場合に表示されます。規定リージョンコード以外のディスクは再生できません。
- パスワード(暗証番号)入力画面
ディスクによっては視聴制限を設けているものがあります。
本機で視聴制限レベルを設定したとき、ディスクとの視聴制限レベルと合わない場合に表示されます。
設定した暗証番号(初期パスワードは「0000」です)を入力することによって、ロックが解除されます。

■ご注意ください

- ディスクによっては、再生中、操作制限があったり、再生できないディスクもあります。
- 本機は全てのディスクの再生に対して責任を負いません。記録条件によって再生できない場合があるため、本機の不良ではございません。特にディスクを作る時の記録品質が重要です。また、再生するディスクの説明書等をご覧ください。

ボタン操作について

●再生/一時停止ボタン



ディスクの再生、場面や曲の一時停止に使用します。一時停止中にこのボタンを押すと再生を開始します。一時停止中はディスクが回転しています。

●停止ボタン



停止ボタンを一度押すと、停止になります。二回押すと完全に停止します。レジューム機能を使用する場合は、停止ボタンで停止させて電源を切ってください。

■ご注意ください

- レジューム機能が有効なのはDVD-Videoです。
基本的には録画されたディスクなどは対応しません。
- ディスクによっては、操作制限等があり、正常に動作しない場合があります。

●頭出し(次)/(前)ボタン (リモコンのみ)



次のチャプターやトラックへ移動します。



前のチャプターやトラックへ移動します。

■ご注意ください

- ディスクによっては操作制限があり、操作できない場合があります。
- シングルチャプター、シングルトラックのディスクは頭出し機能は使用できません。

●早送り/早戻しボタン (リモコンのみ)



ディスクの再生中に、このボタンを押すと、下記の倍速で早戻し再生します。

1段階 → 2段階 → 3段階 → 4段階 → 5段階 → 再生(等速)



ディスクの再生中に、このボタンを押すと、下記の倍速で早送り再生します。

1段階 → 2段階 → 3段階 → 4段階 → 5段階 → 再生(等速)

通常の再生速度に戻す場合は、再生ボタンを押して戻すことが可能です。

■ご注意ください

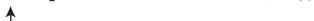
- ディスクによっては操作制限があり、操作できない場合があります。
- 早送り、早戻し中は音声出力されません。

●スローボタン (リモコンのみ)



ディスクの再生中に、このボタンを押すと、下記の速度で再生されます。通常の再生速度に戻す場合は、再生ボタンを押して戻すことが可能です。

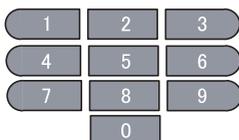
【スロー】 1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2 → 再生



■ご注意ください

- スロー再生中は、音声出力されません。

●数字入力ボタン（リモコンのみ）



チャプターやトラックなどをダイレクトに選択します。

●メニューボタン（リモコンのみ）



このボタンを押すと、ディスクのメニュー画面が表示されます。ディスクによっては、この操作が制限されている場合があります。（記録ディスク使用不可）

●タイトル/ポップアップボタン（リモコンのみ）



このボタンを押すと、ディスクのタイトル画面が表示されます。ディスクによっては、この操作が制限されている場合があります。（記録ディスク使用不可）

●BD/ビデオ入力切替ボタン



ディスク等再生状態と、ビデオ入力を切替ます。

●メディアセンターボタン



再生するメディアを切り替えます。対応しないSDカード、USBメモリーはエラーとなります。

●音量+/- ボタン



本機から出力する音量を調整します。

●消音ボタン（リモコンのみ）



音声を消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

●設定ボタン



このボタンを押すと、設定画面を表示します。
詳しくは、20～24ページをご覧ください

●リピートボタン（リモコンのみ）

リピート

特定のタイトル、チャプター、トラックを繰り返し再生することができます。

- 再生中（記録ディスク使用不可）
チャプター → タイトル → オール
- 音楽CD再生中
トラック → オール
- MP3ファイル再生中
シャッフル → ランダム → シングル再生 → シングルリピート → フォルダリピート

■ご注意ください

- ディスクによっては操作制限があり、この操作ができない場合があります。
- CDやMP3、JPEGは、記録状態によって、この操作ができない場合があります。

●A-Bリピートボタン（リモコンのみ）

A-B
リピート

設定範囲（AからBまで）を繰り返し見たり、聴いたりすることができます。（部分リピート再生）

1. 映像や音楽を再生中、繰り返し見たいシーンや聴きたい位置で、リモコンの「A-Bリピート」ボタンを押し、画面上に“A-”と表示させ、開始位置を設定します。
2. 終了位置で、もう一度「A-Bリピート」ボタンを押すと、画面上に“A-B”と表示され、指定の範囲で繰り返し再生します。
3. 「A-Bリピート」ボタンを押すと、設定範囲をキャンセルできます。また、停止ボタンを押したり、電源が切れると、設定範囲がクリアされます。

■ご注意ください

- 部分リピート再生は同一タイトル内で設定してください。
- 部分リピート再生はマルチアングル部分では働きません。
- ディスクによっては操作制限があり、この操作ができない場合もあります。

●黄(ズーム)ボタン（リモコンのみ）

黄

ディスクの再生中にこのボタンを押すと、下記の順で画面を拡大、縮小します。

■ 映像再生の場合

【ズーム】2× → 3× → 4× → 1/2 → 1/3 → 1/4 → 元のサイズ

↑

■ JPEG再生の場合

ズーム 100% → ズーム125% → ズーム150% → ズーム200% → ズーム75% → ズーム50%

↑

● 表示ボタン (リモコンのみ)

表示

再生中のディスク情報を画面上部に表示して確認できます。
再生中にリモコンの「表示」ボタンを押すと下のように画面に表示されます。



■ ご注意ください

- ディスクによっては、時間などが正常に表示されない場合があります。

● 字幕ボタン (リモコンのみ)

字幕

ディスクによっては字幕が記録されているものがあります。このボタンを押すことによって、字幕の選択をしたり、非表示にしたりします。(記録ディスク使用不可)

2/3 English

■ ご注意ください

- この機能はディスクに字幕情報が記録されていなければ使用できません。
- ディスクによっては、メニュー画面のみで設定可能な場合があります、再生中、この操作ができない場合があります。
- ディスクによっては、複数の言語が記録されている場合があります。

● 音声ボタン (リモコンのみ)

音声

ディスクによっては音声、サウンドトラックが複数のチャンネルで記録されているものがあります。このボタンを押すことによって、それらのチャンネルを切り替えることができます。

2/2 日本語ドルビ デジタル5.1

■ ご注意ください

- この機能はディスクに音声情報が記録されていなければ使用できません。
- ディスクによっては、メニュー画面のみで設定可能な場合があります、再生中、この操作ができない場合があります。

●赤(プログラム)ボタン (リモコンのみ)

赤

チャプターやトラックの再生をお好みの順序に設定し再生します。
このボタンを押すと下のよう画面に表示されます。



リモコンの「決定」ボタンを押します。



右のように表示が変わりますので、上/下ボタンで数字を、左/右ボタンでタイトル/チャプターの選択を行ってください。

タイトル チャプター

リモコンの「決定」ボタンを押すと確定され、次のリストへカーソルが移動します。
「再生」ボタンを押すとプログラムリストに登録した順に再生されます。

●サーチボタン (リモコンのみ)

サーチ

ディスク再生中に、タイトル番号、チャプター番号、または時間を入力することによって、ご覧になりたい位置から再生することが可能です。
このボタンを押すと下のよう画面に表示されます。



上/下方向ボタンでタイトルとチャプターの再生時間を切替えることが可能です。



左/右方向ボタンでご覧になりたいタイトル番号、トラック番号、チャプター番号、時間のいずれかにカーソルを移動させます。

リモコンの「決定」ボタンを押します。例としてタイトル番号では、下のよう上/下方向ボタンや数字ボタンで番号や時間を入力し、「決定」ボタンを押すと、指定した場所から再生を開始します。



便利な再生機能

●ブックマーク機能

ご覧になりたい位置を登録して再生します。

「ブックマーク位置を登録する」

再生中に位置登録したい場面でリモコンの緑「ブックマーク1」ボタンを押します。

ボタンを押すと、下のように表示され、最大12地点の登録ができます。

ブックマーク: 1/12 タイトル: 1 チャプター: 18 時間: 00:57:02

再生中ブックマーク数/最大ブックマーク数

・ブックマークリスト表示

緑(ブックマーク1)ボタンを押してから、黄(ズーム)ボタンで一覧表示。



再生中にリモコン「◀ ▶」カーソルボタンで再生したブックマーク番号を選択し、「決定」ボタンを押すと再生します。

削除するには「消去」ボタンを押します。

「ブックマーク1」ボタンを押すと、表示が消えます。

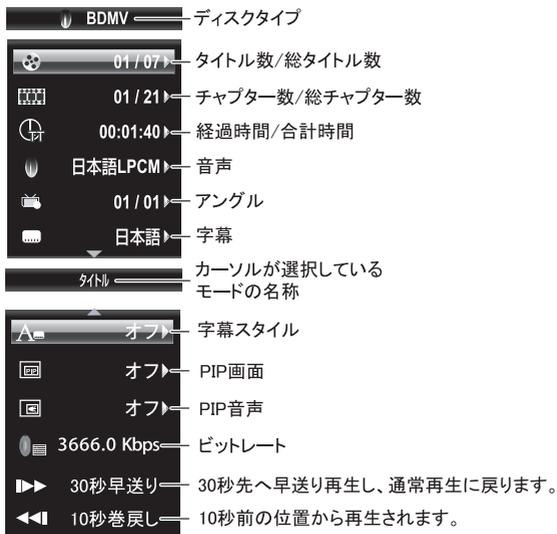
■ご注意ください

設定したブックマーク情報は、再生停止するとクリアされます。

● OSC (オンスクリーンコントロール) 機能

再生中にリモコンの「サブメニュー」ボタンを押すと以下のように表示され、各機能が使用できます。

カーソルボタンで項目を選択して、設定を行って操作を行います。



● BD-LIVE機能

BD-LIVEが収録されたディスクを使用すると、インターネットに接続して、最新映画の予告編や映画出演者のコメントなどを視聴できます。

準備

本製品をLANケーブル(別売)でネットワークに接続します。(LANケーブルは、販売店等でカテゴリ5以上のケーブルをご購入してください)
セットアップメニューの「ネットワーク」を設定します。

USBメモリー(1GB以上推奨)をUSBポートに挿入してください。

視聴する

ブルーレイディスクのメニューにしたがって、BD-LIVEに接続してください。

USBメモリーについて

- ①…USBメモリーはコンピュータで予めフォーマット(FAT32)してください。
- ②…データの消去を防ぐため、BD-LIVEで使用するUSBメモリーには他のデータは入れないでください。
- ③…BD-LIVEのダウンロード先はUSBメモリー内の「BUDA」フォルダになります。
- ④…BD-LIVE視聴中にUSBメモリーを取り外さないでください。
- ⑤…弊社ではデータの消去などに関して一切の責任を負い兼ねます。

インターネット接続について

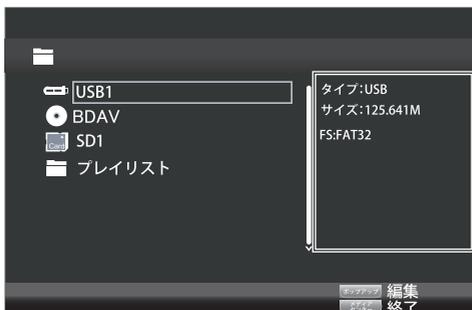
- ①…インターネット回線状況によりダウンロードに数分かかる場合があります。
- ②…ディスクによってBD-LIVE機能が使用できない場合があります。
- ③…初期値はIPアドレスを自動取得(DHCP)する設定になっています。

●メディアセンター

動画ファイル、音楽ファイル、画像ファイルを再生するメディアセンターの操作方法

メディアセンターを開く

USBメモリーやSDメモリーカード、データディスクを挿入し、「Blu-ray」ロゴ画面が表示されている状態で、リモコンの「メディアセンター」ボタンを押すと、下のよう画面が表示されます。



カーソルで選択されている項目の情報が表示されます。

USB1・・・USBメモリーのデータを読み込みます。

BDAV・・・ディスクトレイに挿入されたディスクを読み込みます。

※記録ディスクのタイプに応じて表示されます。

SD1・・・SDメモリーカードのデータを読み込みます。

プレイリスト・・・プレイリスト登録されたファイルを表示します。

対応する形式であっても、すべてのファイル、すべてのメモリーカードの動作保証をするものではありません。

ディスクやメディアに記録されているファイル名は正常に表示されない場合があります。

●再生するファイルの種類を選択する

フォルダを開くと下のように表示されます。



①・・・アイテム番号/総アイテム番号を表示します。

②・・・現在のフォルダ階層を表示します。

③・・・1つ前の階層に戻ります。

写真、音楽、動画、AVCHDはUSBやSDに記録されているフォルダではなく、記録されているファイルの種類を分類するために本機が自動で表示しています。

設定画面を使う

● 設定画面の基本操作方法

「設定」ボタンを押すと下記の画面が表示されます。

設定画面



設定画面の基本操作方法

- リモコンの「▲ ▼ ◀ ▶」ボタンと数字ボタン、「決定」ボタンを使用します。
- 「◀ ▶」ボタンで設定項目を選択し、「▲ ▼」ボタンで各項目の内容の設定に移ります。
- 設定画面を終了するには「設定」ボタンを押します。

● 基本設定

システム



- 自動再生...ディスクの自動再生を設定します。
- 設定初期化...設定を工場出荷時へ戻します。
- アップグレード...管理用項目です。使用しないでください。
- かんたん設定...機器の初期設定をします。
- BUDA...BD-LIVEで使用するUSB、SDカードの選択や、「BUDA」フォルダ内のデータ消去や空き容量の確認が可能です。

言語設定



- 設定画面言語...設定画面の表示言語を設定します。
日本語、または英語(English)が選択できます。
- メニュー...メニューの言語を設定します。
- ディスクによっては設定できる言語、できない言語があります。
詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。
- 音声...音声の言語を設定します。
- ディスクによっては設定ができない言語があります。
詳しくは御使用のディスクの取扱説明書をご覧ください。
- 字幕...字幕の言語を設定します。

ディスクによっては設定ができない言語があります。
詳しくは御使用のディスクの取扱説明書をご覧ください。

再生設定



■ アンゲルマーク

アンゲル情報が書き込まれたメディアを再生したとき、画面に常にアンゲルマークを表示する設定です。この設定でアンゲルマークを表示していても、アンゲル機能はご利用いただけます。

- PIP画面・・・副映像の映像情報が書き込まれたメディア再生時の画面表示設定。
- PIP音声・・・副映像の音声情報が書き込まれたメディア再生時の副音声設定。

■ ラストメモリー機能 (レジューム機能)

再生設定でラストメモリーをオンに設定してください。DVDビデオ再生中に停止ボタンを一回押して、電源を切るとラストメモリー機能が有効になります。

(ディスクによっては「オン」でも機能しない場合があります。)

■ ご注意ください

- ・プログラム再生中は働きません。
- ・ラストメモリー (レジューム) 機能は、DVD-Videoのみ有効です。録画されたディスクには対応していません。
- ・ラストメモリー (レジューム) 機能は、ディスクによって制限があり、正常に動作しないことがあります。

安全設定



■ パスワード変更

「パスワード変更」を選択するとパスワード(暗証番号)設定画面に切り替わります。

パスワードを変更するときは「パスワード変更」を選択し、パスワード変更画面で4ケタの数字を入力します。

初期パスワードは「0000」です。

パスワードをお忘れになると、初期化しても元に戻らなくなりますので、絶対に忘れないようにご注意ください。

■ 視聴制限

暴力シーンなどお子様に適していないシーンを含むディスクにはパスワード機能によって視聴制限を設けているものもあります。視聴制限で視聴可能レベルを設定し、お子様に適さないシーンが含まれるディスクを再生できないようにします。

■ ご注意ください

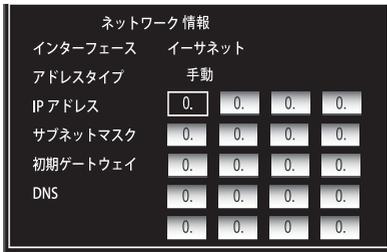
- ・視聴制限の設定は、視聴設定のあるディスクのみ有効となります。

ネットワーク



- ・インターネット・・・インターネットの有効か無効かの設定を行います。
- ・情報・・・ネットワーク情報を表示します。
- ・接続テスト・・・接続テストを行います。
- ・IP設定・・・IPアドレスの取得方法を設定します。

IP設定を「自動」に設定するとIPアドレスを自動取得しますが、手動で設定する場合は「手動」を選択し、下の画面で設定を行います。



- ・BD-LIVEコネクション
BD-LIVEのインターネット接続の制限をします。
- ・プロキシ設定・・・プロキシを設定します。

● 映像設定

画面調整



・アスペクト比

接続するテレビ画面の種類を設定します。

16:9(フル)・・・ワイドテレビにフルスクリーンでの映像出力モード。

※映し出される映像は、テレビのスクリーンモードに依存します。

16:9(ノーマル)・・・通常の映像出力モード。

4:3PS(パンスカン)・・・ワイド映像の左右をカットした映像出力モード。

4:3LB(レターボックス)・・・ワイド映像の上下に黒帯をつけての映像出力モード。

■ ご注意ください

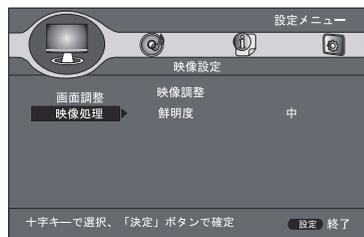
- ・設定を変更する場合、必ず停止状態で行ってください。
- ・ディスクや記録状態によって、設定できない場合があります。

画面調整



- 解像度・・・HDMI接続時の出力解像度を設定します。
※ 解像度を設定して、画面が乱れたり不自然な時には、「720P」を選択 することをお勧めします。
- 映像方式・・・映像信号の出力方式を設定します。
※通常は「NTSC」か「自動」に設定してください。
- 色空間・・・色の表現方法を設定します。
※ 配色を設定しても、不自然な時には「RGB」を選択してください。
- HDMI Deep Color・・・Deep Color対応画面に出力する場合に設定します。
※30bitや36bit、48bitを選択して画面が乱れたり、色あいが不自然な場合は「オフ」を選択してください。
- HDMI 1080P 24Hz・・・1920×1080/24P対応画面とHDMI接続する場合に設定します。

映像処理



映像調整



- 明るさ・・・液晶パネルの明るさを設定します。
- コントラスト・・・液晶パネルのコントラストを設定します。
- 色調・・・液晶パネルの色調を設定します。
- 彩度・・・液晶パネルの彩度を設定します。

- 鮮明度・・・液晶パネルの鮮明度を設定します。
「高・中・低」から選択します。

● 音声設定

音声出力



■ HDMI設定

ドルビーデジタルやDTSサラウンド対応のアンプにHDMIケーブルで接続した場合に使用できます。
ビットストリーム***オリジナルのビットストリーム信号を出力します。
PCM***すべての音声のリニアPCMに変換され音声出力されます。

■ ダウンサンプリング

HDMIケーブルでアンプと接続している場合に使用できます。
※サンプリングレートを設定するための機能で、48Kと96K、192Kから選択できます。

■ DRC

音声ダイナミックレンジ(最大音量と最小音量の差)を圧縮し、小音量時でも音を聞き取りやすくします。
※本機能はドルビー音声再生時のみ効果があります。

● システム情報



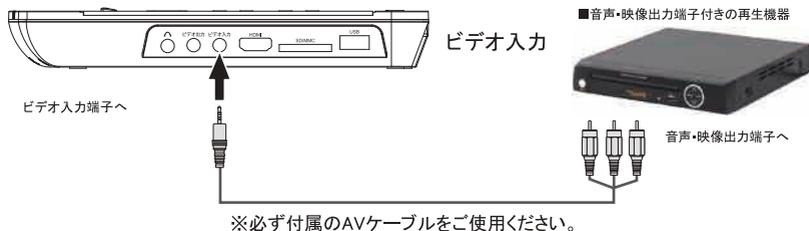
ソフトウェアバージョンとMACアドレスが表示されます。

AVモードで見る

モニター機能を使う

本体及びリモコンの「BD/ビデオ入力」ボタンでビデオ入力を選択します。
他の再生機器を付属のAVケーブルを使用し、本機に映像を映すことができます。

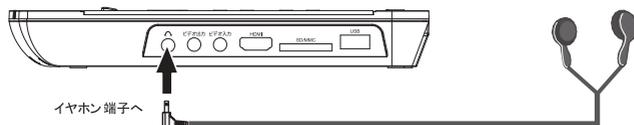
- 接続方法 (ビデオ入力) 付属のAVケーブルを使用して、音声・映像を入力することができます。



外部端子

イヤホンを使用する

- 接続方法 ミニピンプラグのイヤホンやヘッドホンに対応します。

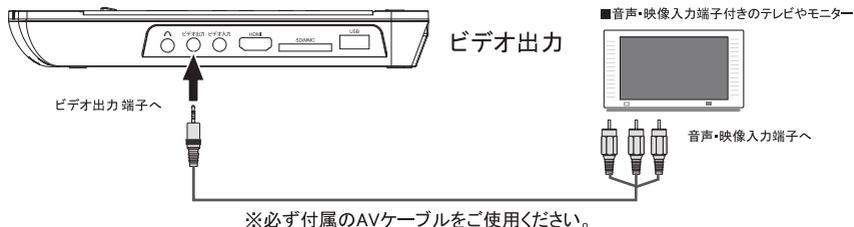


■ご注意ください

- お使いになる前に音量を最小にし、徐々に好みの音量に調整してください。また大音量で長時間使用すると聴力に影響を及ぼす恐れがありますのでご注意ください。

テレビやモニターとつなぐ

- 接続方法（ビデオ出力） 付属のAVケーブルを使用して、テレビやモニターに音声・映像を出力することができます。



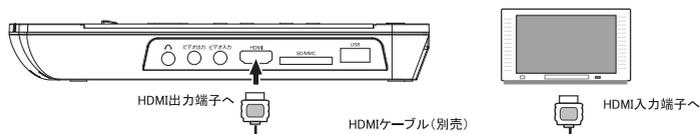
■ご注意ください

- ・ BDディスクを再生すると、デジタル規制により、映像や音声を出力しません。その場合はHDMI接続で、御使用ください。

HDMI入力端子のある機器とつなぐ

HDMIケーブルを使って、HDMI入力端子があるテレビに接続できます。1本のケーブルで音声と映像を劣化のないデジタル信号で出力します。HDMI接続するときは、接続する機器やテレビの取扱説明書をご覧ください。

- 接続方法



■ご注意ください

- ・ テレビと接続する際は、必ず本製品とテレビなどの電源を切ってから行ってください。また接続する機器の取扱説明書をご確認ください。
- ・ HDMIケーブルは販売店にて、ご購入ください。

※ すべての機器との接続動作を保証するものではありません。

主な仕様

商 品 名	10インチポータブルブルーレイプレーヤー SU-10PB
パネルサイズ	10インチワイド
液晶解像度	1024X600ピクセル
電源定格	AC100V 50/60Hz DC12V 2.0A (付属のACアダプターを使用してください)
ACアダプター	AC100V 50/60Hz ※国内専用製品です、海外での使用はできません。
カーアダプター	DC12V 2.0A ※24V車不可
許容動作温度	5°C～35°C
映像信号方式	NTSC/PAL/自動
バッテリー	リチウムイオン
消費電力	17W(最大)
外形寸法	約266(W)X42(H)X203(D)mm(折りたたみ状態)
本体質量	約1.23kg (バッテリーを含む)
搭載端子	USBポートX1、メディアスロットX1、3.5mmフォンジャックX1、AV出力端子X1 HDMI出力端子X1、LANポートX1、電源入力端子X1、AV入力端子X1※1
スピーカー	2CHステレオ (1.5WX2)
対応BDプロファイル	1.1(BONUSVIEW)、2.0(BD-LIVE)
連続再生時間※2	約3.5時間
充電時間※2	約4時間
対応フォーマット	JPEG、PNG、GIF、WMA、AVI
対応ディスク	BD/BD-R/BD-RE/DVD/DVD±R/DVD±RW/CD/CD-R/CD-RW

※1 音声入力は、本機の音量調整非対応です。

※2 連続再生時間および充電時間は、使用状況、使用環境により異なります。また、充電電池の経年劣化により、再生時間が短くなります。

※仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

長年ご使用の製品点検を

<p>このような事は ありませんか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。 ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ・製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。 ・その他の異常・故障がある。 	<p>ご使用を 中止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。
----------------------------	--	--------------------	--

故障かな？と思ったら

画面が白黒になる	<ul style="list-style-type: none">設定ボタンを押して、「基本設定」の「映像方式」が「自動」が「NTSC」になっているか確認してください。
画面が暗い	<ul style="list-style-type: none">画面設定にて設定してください。
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">電源コードの接続を確認してください。
再生できない / 画面に表示されない	<ul style="list-style-type: none">ディスクが中に入っているか確認してください。機器が適切に接続されていることを確認してください。ディスクの汚れ、傷を確認してください。テレビの電源、映像入力モードが正しく設定されているか確認してください。パソコンやレコーダーで記録した記録型のディスクは再生できない場合があります。(→ 4ページ)結露が考えられます。電源を入れた状態で、数時間待ってから再生してください。本体が熱を持っている場合は、約30分程度時間をおいてからご使用ください。
画像が乱れる	<ul style="list-style-type: none">ディスクが汚れたり、傷ついていないか確認してください。汚れているときはディスクを清掃してください。本製品が、ビデオレコーダーやケーブルテレビチューナーなどの映像入力端子に接続されていないか確認してください。これらの機器に接続されているとコピーガードが働き画像が乱れますので、本機をテレビに直接接続してください。
雑音や音声が乱れる	<ul style="list-style-type: none">機器が適切に接続されているか確認してください。近くに強い磁気を帯びたものがある場合は、離してお使いください。
画面に「不明なディスク」と表示される	<ul style="list-style-type: none">本機に対応しないディスクを再生しようとしていないか確認してください。パソコンやレコーダーで記録した記録型のディスクは再生できない場合があります。(→ 4ページ)ディスクの汚れ、傷を確認してください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">本機やテレビのボリューム(VOL)、消音機能を確認してください。適切に接続されているか確認してください。一時停止、巻き戻し/早送り、スロー、コマ送り実行中は音声が出力されません。
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none">電池の向きを確認してください。電池が消耗している場合は交換してください。本機とリモコンの間に障害物がある場合は、取り除いてください。

お手入れについて

- **レンズのクリーニング**
レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり、画像が乱れる場合があります。このような場合は市販のクリーニングをご使用ください。故障の原因となります。
- **結露**
結露が発生した場合、ディスクを本機に挿入すると、ピックアップレンズやディスクに水滴がつくことにより、ディスク信号が読み取れず正常に動作しないことがあります。本機はよく乾燥した状態でお使いください。結露が発生してしまった場合は、本体の電源を入れたまま、最低2時間は乾燥のために放置してください。
- **本体のお手入れ方法**
柔らかい布で乾拭きをしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で5~6倍に薄めて布に浸し、よく絞った後に本体を拭きます。その後、必ず乾いた布で再度本体を拭いてください。アルコールやシンナー等が付着すると、印刷や塗装がはげる場合がありますのでご注意ください。お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

製品の廃棄について

- 製品のご使用が終了し、製品を廃棄する場合は、燃えないゴミや資源ゴミ、粗大ゴミ、小型家電回収等 各自治体によって取り扱いが異なりますので、お住まいの自治体の指示に従ってください。

各種ライセンスについて

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 2.0+Digital Out is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

Java and all other Java trademarks and logo are registered trademarks of Sun Microsystems, Inc.

Cinavia Notice

This product uses Cinavia technology to limit the use of unauthorized copies of some commercially-produced film and videos and their soundtracks. When a prohibited use of an unauthorized copy is detected, a message will be displayed and playback or copying will be interrupted.

If playback or copying is interrupted and one of the messages shown below is displayed, the content is an unauthorized copy protected by Cinavia technology.

<u>Message</u>	<u>Cinavia Message Code</u>
[Message(s) 1]	1
[Message(s) 2]	2
[Message(s) 3]	3
[Message(s) 4]	4

More information about Cinavia technology is provided at the Cinavia Online Consumer Information Center at <http://www.cinavia.com>. To request additional information about Cinavia by mail, send a postcard with your mailing address to: Cinavia Consumer information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA.

IPR Message

Copyright 2004-2013 Verance Corporation. Cinavia™ is a Verance Corporation trademark. Protected by U.S. Patent 7,369,677 and worldwide patents issued and pending under license from Verance Corporation. All right reserved.

アフターサービス

■この製品は家庭用です。

この製品は家庭用です。業務用や長時間連続して使用しないでください。

■万一、本体を落としたり破損した場合は点検修理（有料）をご依頼ください。

お買上げの販売店又は弊社サポートセンターへご相談ください。

■取扱説明書「安全上のご注意」の記載事項を守ってお使いください。

思わぬ事故や機器の故障の原因となります。

■保証書

この製品は保証書付きです。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保証期間は、お買上げ日より1年間です。

■修理をご依頼いただく際は

【保証期間中の場合】

商品に保証書を添えてお買上げの販売店又は弊社サポートセンターへご相談ください。

【保証期間が過ぎている場合】

お買上げの販売店又は弊社サポートセンターへご相談ください。

※保証期間内外に関わらず、いかなる理由におきましても、お客様が業者に依頼して発生した本製品の取り付け・取り外しの費用等は弊社では一切責任を負いかねます。

※本製品の故障による代替品の貸出は一切行っておりません。

※弊社は出張修理サービス等を行っていません。

※修理をご依頼いただく際の輸送箱は、お客様自身でご用意をお願いします。

「修理規定」に基づき修理を承っております。

「修理規定」の最新版は弊社ホームページでご確認いただけます。

アグレクション ホームページ <https://www.agrexsione.co.jp>

■アフターサービスについてご不明な場合は

アフターサービスについてご不明な場合は、お買上げの販売店又は弊社サポートセンターへご相談ください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害及び当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、損失について、当社は一切責任を負いません。
- 保証期間内外に関わらず、いかなる理由におきましても、本製品の取り付け・取り外しに発生した費用等に関して当社は一切責任を負いません。

保証規定

- ・保証期間内の製品については、保証規定とあわせて「修理規定」も必ずお読みください。同意いただいたうえで、アフターサービスをご依頼ください。
- ・本規定は予告なく変更する場合がございます。本規定の最新版は、当社ホームページでご確認いただけます。なお、本規定は常に最新版を適用するものとします。
- ・延長保証など、当社保証とは別の保証を利用される場合は、修理品送付前に販売店にお問い合わせください。
- ・保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- ・保証期間は使用開始時期・使用期間にかかわらず、保証書に記載の期間です。修理後も保証期間に変更はありません。
- ・保証期間内であっても、保証内修理適用判断については、当社権限にて実施させて戴きます。全て無料保証修理をお約束するものではありません。

①ご購入日から保証期間内に正常なご使用で故障が発生した場合、製品と保証書をご持参のうえ、お買い上げ販売店又は当社カスタマーセンターにお申しつけください。当社無料修理保証規定に基づき無償で本体を修理いたします。

②本製品をネットオークション、ネットフリーマーケット、転売品、中古品またはそれに類する条件で入手した場合は製品保証の対象外となります。

③本製品を他者から譲り受けた場合、製品保証の対象者は購入者本人となります。当保証規定に基づく修理の依頼は購入者本人（購入したことを証明し得る者）が行う必要があります。

④保証期間でも次のような場合には有料修理となります。

※使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。

当社によらない分解、改造（ソフトウェアを含む）、修理等が行われた痕跡がある場合。

※お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送、強い衝撃等による故障または損傷。

※火災、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、虫害、鼠害、地震、落雷、津波および風水害、その他天災地変、錆、カビ、たばこの煙等による汚れ、ゴミや埃などの異物混入、あるいは異常電圧などの外部要因による故障または損傷。

※一般家庭用以外（業務用、または異常な連続使用など）のご使用、船舶への搭載などに使用された場合の故障または損傷。

※保証書の提示がない場合。購入日が確定できるレシート、納品書、販売店からの発送メール等が無い場合。

※保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

※付属品（リモコン、アダプター等）と消耗品（バッテリー等）の交換。

※液晶パネルのドット抜けは製品の性質上、初期不良・修理・返品制度の対象外となります。

⑤サポート及び保証書は日本国内にのみ有効です。Effective only in Japan.

サポート

本製品の使用方法に関するお問い合わせ、修理等のお申込みは、
下記サポートセンターまでご連絡ください。

発売元:株式会社アグレクション

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡124-1

お客様サポートセンター

一般電話 **048-961-8991**

受付時間:平日9:00~17:00(土日祝祭日は除く)

※本製品のサポートは日本国内限定となります。

※製品をお送り頂きます場合は必ずご連絡後にお願いします。

保証書

品名	型名
お買い上げ日 年 月 日	保証期間 1年
お客様 お名前	
ご住所	
販売店(記入、捺印がない場合は保証対象となりません) ※ただし購入日を確定出来る書類(レシート、納品書、販売店からの発送のメール等)がある場合は保証対象となります。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">印</div>	